

是枝裕和監督作品 『海街diary』『そして父になる』

# 海よりもまだ深く

原案・監督・脚本・編集：是枝裕和

阿部 寛 真木よう子 小林聡美 リリー・フランキー 池松壮亮 吉澤太陽 / 橋爪 功 樹木希林

配給：ギャガ ©2016 フジテレビジョン パンダイビジュアル AOI Pro. ギャガ

5.21sat  
全国ロードショー



監督 是枝裕和

台風の夜に、偶然ひとつ屋根の下に集まった元家族。夢見た未来と、少しちがう今を生きる大人たちへ贈る感動作。

「本作は、東京都清瀬市の清瀬旭が丘団地を主な舞台にしています。ここは、僕が9歳から28歳まで20年近く住んでいた団地で、実際に暮らしていたのと同じ間取りの3DKの部屋で撮影しました。なぜ団地で撮りたかったのか？ 今、団地はいろいろな形で変化してきていると思いますが、リノベーションやリニューアルされた団地があり、単身者が多く住むようになっていく団地もある。さまざまな意味で僕の記憶と変わってきつつあって、いま撮らなければ、僕が子供の頃に観た原風景がなくなってしまうという思いがありました。団地は、はたから見るととても人工的に見えるかもしれませんが、思い出される情景はすごく芳醇です。友達と語り合った遊歩道やベンチ、駐輪場や階段の踊り場、ペランダから見える風景……公園の滑り台だけでも、いくらでも語れます。そうして、僕をつくってくれたひとつひとつへの感謝の気持ちを込めて、大切に撮りました。この映画をみていただければ、団地に住んでいる人や、かつて住んだ人は、「そうそう、団地の暮らして、こういう面白さがあったよな」「自分もこんなことしたな」と、それぞれが自分の中にある団地経験を蘇らせてもらえるのではないのでしょうか。また、団地暮らしをしない人は、自分の故郷に置き換えながら見ることが出来ると思います。そういうエピソードをふんだんに盛り込んだつもりなので、そのへんもぜひ楽しんでいただければうれしいですね。」

## STORY

笑ってしまうほどのダメ人生を更新中の中年男、良多(阿部寛)。15年前に文学賞を1度とったきりの自称作家で、今は探偵事務所勤めしているが、周囲にも自分にも「小説のための取材」と言い訳している。元妻の響子(真木よう子)には愛想を尽かされ、息子・真悟の養育費も満足に払えないくせに、彼女に新恋人ができたことにショックを受けている。そんな良多の頼みの綱は、団地で気楽な独り暮らしを送る母の淑子(樹木希林)だ。ある日、たまたま淑子の家に集まった良多と響子と真悟は、台風のため翌朝まで帰れなくなる。こうして、偶然取り戻した、一夜かぎりの家族の時間が始まるが――。

（4月未発行の『K』P.122と『海街diary』）



本作は、是枝裕和監督が20年近く住んでいた、東京都清瀬市の清瀬旭が丘団地で撮影されました。